



# まずは乾杯！昼から乾杯！！

## 京都ダイナー通信 第15号 2020年秋

皆様こんにちは、大変ご無沙汰しております。

**オーナーの上坂**です、1年ぶりにレターをお届けいたしました。

春のニュースレターは料理もワインも完璧に用意して、郵送する直前に感染者拡大で幻のレターとなってしまいました。..あれからもう半年経ちますね。

やっと皆様にご挨拶ができるようになりました。

まだまだ不安定な状況ではありますが、政府も **GoToEat** キャンペーンなど用意してくれていますので、最大限利用してお得にお食事にいらしてください。

食ベログやぐるなびのグルメサイトで予約してご来店頂きますと、なんと夜の予約はお1人あたり1000ポイントもらえます！これは次回のお食事で1000円として使えます。2名で来れば2000円、5名ですと5000円です！

利用しない手はありません、難しくはありません、予約の仕方がわからない方は当店までお電話ください、ネット予約の取り方お教えします。

そして『**GoToEat キャンペーン食事券**』..これも魅力的です。

京都府では4000円で5000円の食事券が購入できます。最大1人1回に付き20000円まで買えますので25000円の券として使えます。上記のネット予約のポイントと同時に両方も使えます。..予算切れになる前にぜひ使ってください。

まあ、でもそんな事よりも久しぶりにお顔を見たいお客様、たくさんいらっしゃいます。遠方からいらして頂いているお客様もしばらくお会いしておりません..

スタッフも皆元気で頑張っていますので、この機会に会いにいらしてください..

京都ダイナーの雰囲気思い出して頂けますよう、美味しい料理とワイン、寛げるお席をご用意しています。

本店は入店前の自動検温と手指消毒、パーテーション間仕切りをしています、店中の換気扇、キッチンファンも強力なものに新しくしました。

Deuxは広めの空間を活かし、テーブル間の距離を取るようになっています。

皆様のご来店をお待ちしております。

京都ダイナーより、秋のイチオシおすすめ料理のご紹介です。

キャンペーンに向けて用意した料理はもちろん全部おすすめですが、あえて1つあげるとすれば『**京乃豚と大原野菜のヴァポレ**』でしょうか。"ヴァポレ"とは"蒸し"の意味です。

今回のキャンペーンは北イタリアがテーマなので、広い北イタリアの中でも食のメカ、ピエモンテ州より郷土料理を1つ選んでみました。

今やイタリア料理と認識されているかも分かんぐらい、その名前だけでも市民権を得ているであろう料理"バーニャカウダ"。みなさんどこかで出会ったことがあると思います。これはれっきとしたピエモンテ州の郷土料理、秋冬の定番です。

生野菜を温めたアンチョビとニンニクのソースにつけながら食べる料理ですが、主役はもちろん野菜です。トスカーナにも似たような料理があって、"ピンツィモーニオ"というんですが、同じように生野菜をオリーブオイルとワインヴィネガーで作るドレッシングにつけて食べます。ただ、こっちは食事というよりも、アペリティーボの時にちょこちょこ掴むスナックみたいな感じでみんな食べてました。ミーハーですが、野菜ってこんな美味しいんだよと気付かされるほど、シンプルにしてベストな野菜の食べ方かもしれません。

イタリアの野菜もすごく美味しかったですが、日本のだって負けてないと思います。地域ごとに特産があり、基本的にはその季節のものを食べようという考え方は、共通する感覚ですね。

京都にも美味しい野菜がいっぱいあります。「ブランド京野菜」じゃなくていいのです。地のモノを食べることは、体にもお財布にも環境にも良いことは言うまでもありません。

京都ダイナーではそのバーニャカウダを、食べ方を少しアレンジしてご用意しようと思います。ソースは常温、野菜は専用鍋で蒸したてでお出しいたします。野菜は大原以外にも、美山や丹波からも仕入れてあります。これまた京都産の「京乃豚」のバラ肉も入っていますので、一緒にお召上がり下さい。

この料理に関しては、口に入れてうまいっ！よりも、ホッとして欲しいなと思いがら作っています。岩本

(ちなみに姉妹店 Deux ではビストロ風に仕上げています！)



### ワイン&グリル 京都ダイナー

〒604-8121

京都市中京区柳馬場通錦小路上る十文字町 451

◆TEL&FAX 075-202-7788

◆営業時間 火～金 15:00-23:30 (L.O. 23:00)

土日祝日 12:00-23:30 (L.O. 23:00)

◆定休日 月曜日 ※日曜日のみ 22:30 終了



ワイン & グリル

### Bistro 京都ダイナー II (Deux)

〒600-8418

京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町 407-2

◆TEL&FAX 075-708-8844

◆営業時間 11:30-23:00 (平日/ランチ・カフェ 17時まで)

12:00-23:00 (土曜・祝日/ランチ 17時まで)

◆定休日 日曜日 & 第2, 3月曜日 (L.O. 22:00)

◆HP : <http://www.kyoto-diner.com>

◆mail : [info@kyoto-diner.com](mailto:info@kyoto-diner.com)

## 北イタリア紀行

みなさま、お久しぶりです。本店店長の岩本です。

コロナ乱世の中、いかがお過ごしでしょうか。

私はというと、ご存知の通り店も長く休業で、だからといって外出できるわけでもないの、着実に脂肪と髪を蓄える毎日でした。Netflix、Hulu、AmazonPrimeなど、ありとあらゆるサブスクリプションを網羅し、YouTube上に存在するすべての動画を見つくり、それでも余りある時間をいかに無駄遣いするかを考えるだけの日々は、二度と訪れないことを願います。

この仕事を始めた頃は毎日休み無しで働いて、まさに寝る間も惜しんで勉強して、それはそれで充実していたけれど、反面何も考えずに只々ダラダラして過ごす日々の本気で憧れていました。が、いざ本当にそういう日が訪れると、がむしゃらに前だけ向いて走り続けていたあの頃（今もたいがいですが）がやけに恋しくなって、無いものねだりやな。。。と思ったりしていました。目標が無いってこんなに辛いとは。辛いというか、何と表現すればいいんでしょうね、精神的にまいってくるというか、何もしてないのに体が疲れてるような感じがして、気力が減退し、やのにお腹は減るしで、まあある意味貴重な体験だったかもしれません。労働の素晴らしさ？に気づかされました。あれ？

せっかく準備した春のキャンペーンはお披露目することができず、その頃を目がけて来京して下さるお客さん達にも会えずにみんな落ち込んでいましたが、その分この秋のキャンペーンは気合が入っています。ソムリエはワインを吟味し、京都ダイナーらしいバリューワインから、普段はグラスではちょっと飲めないようなワインまで、両店合わせ計10銘柄用意しました。料理も両店舗でメニュー構成・ワインとの相性・試作試食と、みんなで何回もミーティングして、我（々）ながら良い準備ができたんじゃないかなと感じています。

お迎えする準備は万端です！あとは来て頂だけ！GoToキャンペーンをフル活用し、ポイントも稼ぎまくり、そして美味しいワインと料理を堪能してください。皆さんの元気な顔を見られるのを楽しみにしています。

ご来店お待ちしております！！

ここからは、今回のキャンペーンをするにあたって私たちが決めたコンセプトというか、方向性（主に本店の）について少し書きたいと思います。

コロナの出所でもないのに、まっ先に感染者が激増した国のひとつにイタリアがありました。特に北イタリアは悲惨だったようで、私がお世話になったイタリア語の先生の出身地 Brescia（ブレージャ：ロンバルディア州）では、人口が半分になるんじゃないかと言われたぐらい壊滅的な状況だったようです。（その先生は、ご家族・親戚も含めて無事でした）

私が主に生活していたトスカナでは、被害はそれ程でもなかったようですが、それでも他人事とは思えませんでした。ちなみに私の another sky（モデル風に）の Arezzo では感染者はゼロだったようです。Sicilia のゴッドファーザーならぬ Arezzo のゴッドマザーことロジータ（ロジータに関しては、2019年秋のキャンペーンの新聞をご覧ください。HP からバックナンバーが見られます）とはママに連絡をとっていましたが、外に出られなくてつまらないと言って落ち込んでいました。でも相変わらずよく喋っていたので、たぶん元気だと思います。

もちろん日本でもいろんな事が起きていたので、人の心配をしている場合ではなかったのですが、それでもイタリアのために何かできることはないかと考えているとき、PHP という月刊誌で一つの記事を目にしました。寄投された方が、東日本大震災の直後にミラノの教会で見たのは、何千人ものミラノ市民が東北のために祈りを捧げる姿。讃美歌の後に、「ふるさと」の大合唱が響き渡ったそうです。

そういえば、私もヴェネツィアに旅行に行ったとき、サンマルコ広場にある有名なカフェの前で、そのカフェお抱えの楽団が日本の曲を演奏しているのを見ました。日本人観光客が多いから、喜ぶだろうと（チップが欲しくて？）やってくれたんだと思いますが、その曲がまさに「ふるさと」でした。あと坂本九ちゃんの「上を向いて歩こう」も。単純に嬉しかったのと、日本の曲といえば、で浸透しているのがその曲でホッとしたのを覚えています。

私たちは（というか日本は）、災害が起こったらまず物資や経済的支援を考えますが、その対応の違いには考えさせられました。宗教や文化の違いはもちろんありますが、辛い思いをしている人がいたら、まずは集い、みんなで祈る。明るくて、いい加減で、ルーズなイメージのあるイタリア人ですが、こんなにも真摯な一面も持っています。グッとくるものが、何かありました。

最初は、「イタリアワイン1本売れるにつき、百円寄付」とか考えていたのですが、違うなと。そもそも2店舗ぐらいでそんなことでも大した金額にならないというのがありますが、もっと大切な、何か潜在的にイタリアのためになる事はないかと考えた結果が、今回の秋のキャンペーン「北イタリア紀行」でございます。私は北イタリアにはほとんどルーツが無いので、見る人が見ればなんちゃって北イタリアになっているかもしれませんが、少なくとも私が自分で見て食べてきたものをできるだけ表現できたらと思っています。

バローロ（イタリアワインの王様）を飲んでピエモンテを想い、ソアヴェを飲んでヴェネト・水の都を感じてください。その時、イタリアに行ったことがある人はその思い出話をして、行ったことのない人はまだ見ぬ地へ、想いを馳せてみてください。そして、このウイルス問題が終息した時、いつかイタリアの地を訪れようと思って頂きかけになれば、このキャンペーンは大成功です。

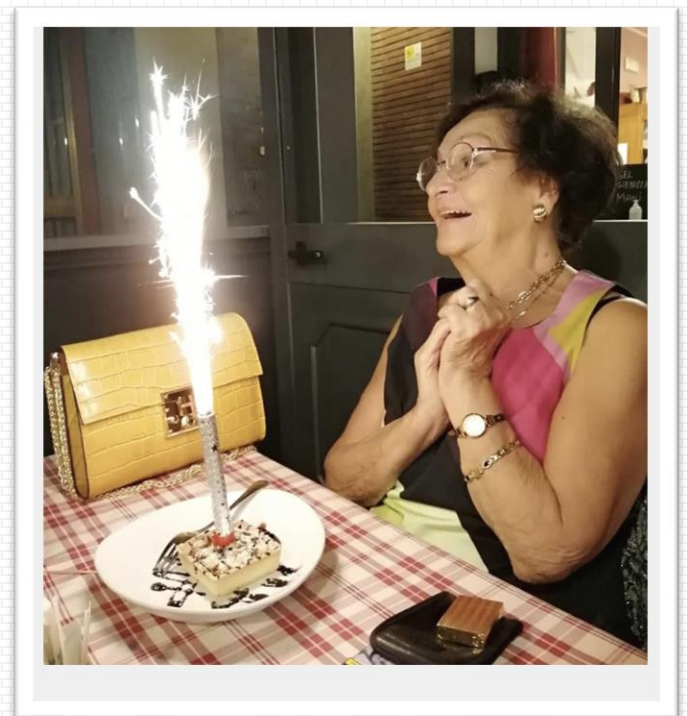
そうなることを祈っています。日本の為に祈ってくれたイタリアを今度は日本から祈りたい…そう思います。

ところで、来年2021年に東京オリンピックは本当に開催されるのでしょうか。越えなければならぬハードルが山盛りありそうですが、とにかく選手の人たちにとっては夢の舞台だと思うので何とかならんかなと思うばかりです。

そして、皆さんご存知でしょうか。2026年の冬季オリンピック、開催地はな、な、なんと！ミラノ（とコルチーナ）でございますー！！絶対に行きたい。いや、行きます。開催期間中は、岩本は店に不在でございますのでご勘弁ください。今から言っときます。

今回のキャンペーンは**10月21日～11月30日**です。

それでは、ミラノ（京都ダイナー）で待っています！Ciao！



写真：ロジータ89歳の誕生日。Buon Compleanno!!  
オンライン誕生日会しました。今時です。